

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/1/16現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	ニッセイ／パトナム・インカムオープン・証券投資信託
組成会社（運用会社）	ニッセイアセットマネジメント株式会社
販売委託元	ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	主に米ドル建ての米国国債、モーゲージ証券、ハイイールド債および外国債を投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	主に米ドル建ての米国国債、モーゲージ証券、社債、ハイイールド債および外国債を投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行うことから、中長期での資産形成を目的とする方を想定しています。米ドル建ての米国国債、モーゲージ証券、社債、ハイイールド債および外国債を主要投資対象とすることから、一定程度の収益を求め、ある程度の元本割れリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① この商品は、どのような観点から、私にふさわしいと考えていますか。
 - ② 外債（外貨建て債券）とは、具体的にどのようなものですか。
 - ③ モーゲージ証券とはどのようなものですか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じる リスクの内容	<金利変動リスク>景気や経済の状況等の影響を受け債券価格も変動しま
	<信用リスク>債券の発行体が財政難等に陥り、債券の利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことが出来なくなる場合、債券の価格が下落することがあります。
	<期限前償還リスク>モーゲージ証券は様々な要因により、期限前償還されることがあり、これらの増減により価格が変動します。
	<為替変動リスク>原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
	<流動性リスク>市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予想される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。
過去1年間の収益率	-0.3%（2023年10月末現在）
過去5年間の収益率	平均4.3% 最高11.1%（2022年8月）最低-3.5%（2021年2月） （2018年11月～2023年10月の各月末における直近1年間の数字）

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の6ページから8ページ、運用実績の詳細は交付目論見書の9ページから10ページに記載しています。

- (質問) ④ ファンドとしての平均利回りと投資家への分配金利回りは異なりますか。
 ⑤ リスクとしては、ドル安など為替リスクを考えておけばよいですか。

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

(税込)

	窓口購入	インターネット購入
購入時に支払う費用 (販売手数料など)	1千万円未満：2.75% 1千万円以上5億円未満：1.65% 5億円以上：1.10%	1千万円未満：1.925% 1千万円以上5億円未満： 1.155% 5億円以上：0.77%
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	信託報酬：年1.65%	
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の12ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ⑥ 債券型は、株式型よりも購入手数料は低くなりますか。
 ⑦ 「長く保有していると、購入手数料負担が小さくなる」とは、どのようなことですか。

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還を行う場合があります。

この商品をお客様が換金・解約しようとする場合、解約手数料・信託財産留保額ははありません。

証券取引所・外国為替取引の停止等により換金や解約ができないことがあります。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の12ページに記載しています。

- (質問) ⑧ 償還日には、当初の投資元本が確保されますか。

5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う費用（販売手数料、信託報酬）のうち、組成会社等から0.77%の手数料を頂きます。これは販売時のコンサルティング（販売仲介など）の対価としていただきます。

当金庫は、この商品の組成会社等との間で出向等の人間関係および資本的関係がありません。

「重要情報シート」のフォーマットのとおり、当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるようなことはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

(URL) <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- (質問) ⑨ あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時、配当所得として普通分配金に対して20.315%、換金（解約）時および償還時は、譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の13ページに記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】
(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/uno/nyo/files/mokuromisyo.pdf>
※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】
(URL②) <http://www.nam.co.jp/fundinfo/dcnpio/main.html>
※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。
当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた契約締結前交付書面【目論見書交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

< 質問回答例 >

ニッセイ／パトナム・インカムオープン

	< 質問 >	< 回答例 >
①	この商品は、どのような観点から、私にふさわしいと考えていますか。	お客様の資産構成を補完するクラスの商品であること、また投資ご経験からも十分ご理解いただける商品です。
②	外債（外貨建て債券）とは、具体的にどのようなものですか。	米国であれば、米国国債、米国の企業が発行する社債などが一例です。特に企業は、株式の発行と社債の発行・銀行借入れによって、資金調達を行います。
③	モーゲージ証券とはどのようなものですか。	この商品においては、米国の連邦住宅抵当公庫(ファニーメイ)および連邦政府抵当公庫(ジニーメイ)の発行する証券を指しています。
④	ファンドとしての平均利回りと投資家への分配金利回りは異なりますか。	異なります。もしファンドとして受取る利回りが3%なのに、投資家への分配金利回りが8%であれば、その差額分は別の原資に依存していることとなります。
⑤	リスクとしては、ドル安など為替リスクを考えておけばよいですか。	もうひとつの要素として、金利が上昇していくと投資対象の債券価格が下落するリスクも重要です。またこれら以外にも、投資対象銘柄が債務不履行となる信用リスクもあるものとお考えください。
⑥	債券型は、株式型よりも購入手数料は低くなりますか。	私どもの商品ラインナップにおいても、そのような差違いが認められることは事実ですが、常にあてはまることとは言えません。あくまでも、運用会社の判断で手数料上限額は設定されます。
⑦	「長く保有していると、購入手数料負担が小さくなる」とは、どのようなことですか。	例えば、手数料3%だとして、保有期間1年であれば負担率年3%ですが、3年間保有していれば、負担率は年換算では1%になる、という考え方です。
⑧	償還日には、当初の投資元本が確保されますか。	その償還日時点の基準価額で計算された金額が、償還されることとなります。したがって、最終的に投資元本割れとなるおそれはあります。
⑨	あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。	お客様ごとに、資産の状況やライフプランの考え方は異なりますから、一律に同じ商品を推奨することはありませんので、ご安心ください。